



横浜みどりアップ計画

地域緑のまちづくり事業

R E P O R T

●地区名 霧が丘六丁目地区

●団体名 霧が丘六丁目まちづくり
推進会・みどりアップ部会

●計画名 観て・食べて・祭りで
みどりを体感!みどりで交流!



◎所在地：緑区霧が丘六丁目

◎取組期間 3 年

◎協定締結期間

平成 29 ~ 令和 元 年度

横浜みどりアップ計画とは

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。

詳細は...

地域緑のまちづくり事業とは

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、市民との協働により緑化を進めるものです。

詳細は...



地区の範囲図及び緑化実施場所

団体・地区の概要

本団体は、霧が丘六丁目まちづくり推進会の中にある部会の一つであり、地域まちづくり推進条例にのっとりまちづくりプランに基づき、緑化計画を進めています。

緑区にある霧が丘六丁目では、開発から40年を経過し、子供たちが独立して住民同士の会話が少なくなった高齢化世帯が増えるとともに、地域に溶け込めていない新住民とのコミュニケーション不足も課題となっています。

また、農地や雑木林のあとに分譲住宅が建てられたことで、地域全体の緑の総量が減少すると同時に、敷地が細分化されたことで景観の統一性がなくなってきています。

かつての一体感のある「まち」を取り戻していくためには、地方都市とは違った形の、大都市近郊住宅地としての「まちおこし」が必要となっています。

取組(計画)の概要

地域のシンボリック的存在となり、育てやすく実を利用できるレモンを中心とした柑橘類を植栽し、園芸講習会や花植え活動では、加工、販売のワークショップや、収穫祭等のイベントで利用可能な、ハーブ等の植物を中心に植栽します。

また、地区を4つに分割し、地区別のテーマに基づき、緑化を進めます。

地域緑の活動を単に緑をアップするだけでなく、地域の魅力もアップする「まちおこし」として位置づけ、計画名にも表現されているように、①観て食べ、②五感を刺激しつつ、③住民同士の交流を促し、緑化を通じて楽しみながら地域活動を行うことで「まち」の一体感を取り戻し、郊外住宅地のコミュニティを再生する起爆剤とします。





霧が丘高校西側の緑化

主な取組み実績

助成金額合計：9,795千円

民有地緑化

レモンのまちづくりを推進!

レモンの木を中心に、戸建て住宅(33件)へ緑化を行うとともに、地域内にある霧が丘高校や星槎学園中学校に協力いただき、レモンのまちづくりを推進しました。そのほか、雨水タンク(6基)を設置し、維持管理に活用しています。

活動支援

植替え用の花苗を購入したほか、ハンギングバスケット講習会を開催しました。ハンギングバスケット講習会は、自治会内にチラシを配布し、合計15名の方に参加いただきました。



3か年の取組みを振り返って

中学、高校、マンションなど、まとまったところにレモンを植えたことで、町全体への効果は高まっています。これからは「レモンのまちづくり」も本格化していくので、収穫したレモンの活用方法を何とかしていきたいと考えています。

また、地域にある二つの学校とみどりアップの活動について話し合っているところで、今後は生徒たちも活動に関わってくれれば良いと思っています。



集合住宅の緑化



戸建て住宅の緑化②



戸建て住宅の緑化①



戸建て住宅の緑化③



戸建て住宅の緑化④

【問合せ】
横浜市環境創造局みどりアップ推進課
【TEL】045-671-3447
【FAX】045-224-6627
【Mail】ks-ryoka@city.yokohama.jp